文星芸大附 now!

文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市睦町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行　教務部・学報編集係

文星芸大附now!は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発刊されました。

創立百周年記念特集
校訓・校歌を考える

進学統括部長　牧島勝利

皆さんは、毎朝どんな想いで校訓を唱えていますか。式典のたびに歌う校歌はどうでしょうか。ただ単に習慣で校訓を唱えたり、校歌を歌ったりしている人も多いのではないかと思います。

私は文星に奉職して十年になります。最初のころは、本校の校訓や校歌をただ眺めている感じでしたが、次第に、本校の校訓や校歌の素晴らしさに魅かれるようになりました。今では、校訓である「敬の教え」の尊さや校歌に盛られた高邁な教育理念に、感動すら覚えています。

今年は本校創立百周年です。この節目の年に当たり、創立者上野安紹先生が校訓に込めた想いはどのようなものか、二代目校長上野秀文先生が校歌に盛り込んだ「敬の教え」はどのようなものか、改めて皆さんとともに、考えてみたいと思います。

文星短大学長室に、天野為之先生が揮毫した「處萬変主一敬」の書がかけられています。「處萬変主一敬」（萬変に處するに一敬を主とす）は、「すべてのことに敬をもって当たりなさい」という意味です。

天野先生は、早稲田大学開学の祖・大隈重信先生を助けながら、早稲田大学の礎を築いた早稲田四尊【高田早苗（憲法学）・天野為之（経済学）・坪内逍遥（文学）・市島健吉（政治家）】の一人としてあがめられる偉大な人物です。

天野先生は、大隈重信先生の後を継いで早稲田大学の第二代学長を務めました。また、早稲田実業学校の創立にも尽力され、早稲田実業学校の第二代校長に就任しました。天野先生は、「處萬変主一敬」から「他を敬し、己を敬し、事物を敬す」の三敬主義を提唱しました。これが早稲田実業学校の校訓となっています。

上野安紹先生は、早稲田大学在学中に天野先生の薫陶を受け、生涯にわたって師と仰ぎました。昭和五年、安紹先生が四十五歳で夭逝された年に、天野先生は本校の名誉校長に就任されました。このことについては、平成九年発行の同窓会名簿の本校沿革に記載されています。それほど天野先生と安紹先生は強い絆で結ばれていたのです。この天野先生の教育理念を受け継いで、本校の校訓「自己を敬へ」「他人を敬へ」「仕事を敬へ」が制定されました。本校ではこれを三敬精神と呼んでいます。

（以下二頁へ続く）

1・2p ＜創立百周年特集＞
＜校訓・校歌を考える＞
3p ＜高校 修学旅行・雄飛祭＞
4p ＜高校 就職試験出陣式＞
5p ＜中学 雄飛祭・部活動＞
6p ＜中学 サマーキャンプ＞
7P ＜中学 修学旅行・福祉体験＞
8P ＜雄飛祭案内＞

中学校行事予定

▽十月
- 21日(金) 雄飛祭準備
- 22日(土) 雄飛祭（オープニング式典）
- 23日(日) 雄飛祭（一般公開日）
- 24日(月) 代休

▽十一月
- 4日(金) 創立百周年記念式典準備
- 5日(土) 前理事長先生御命日
- 6日(日) 創立百周年記念式典
- 7日(月) ハイキング
- 8日(火) ハイキング予備日
- 11日(金) 日本語検定
- 12日(土) 総合的な学習
- 17日(木) 芸術体験（於　文星芸術大学）
- 25日(金) 薬物乱用防止教室
- 26日(土) 第一回入学試験

▽十二月
- 1日(木)～2日(金) 期末考査
- 3日(土) 総合的な学習
- 17日(土) 第二回入学試験
- 22日(木) 第二学期終業式

高校行事予定

▽十月
- 21日(金) 雄飛祭準備
- 22日(土) 雄飛祭（オープニング式典）
- 23日(日) 雄飛祭（一般公開日）
- 24日(月) 代休
- 28日(金) 総合学力テスト（英二・三年・普一・二年）
- 29日(土) 総合学力テスト（普二年・英一・二年）

▽十一月
- 2日(水)～3日(木) 第三回共催マーク模試（英三年）
- 4日(金) 創立百周年記念式典準備
- 5日(土) 前校長先生御命日
- 6日(日) 創立百周年記念式典
- 7日(月) 秀文杯校内体育大会
- 8日(火) 秀文杯体育大会予備日
- 11日(金)～12日(土) 第三回共催マーク模試（普三年）
- 12日(土) 第一学年保護者懇談会

▽十二月
- 1日(木)～6日(火) 期末考査
- 8日(木)～9日(金) 前期入試願書受付
- 22日(木) 第二学期終業式

BUNSEI 100th anniversary

「處萬変主一敬」は、これまで中国・宋の時代の李迪（りてき）の詩文の一句から引用されたと考えられてきました。鳩山一郎氏が文部大臣時代に揮毫した「處萬変主一敬」の石碑があるようですが、その出典は特定されていません。

昨年、本校の森本先生が、「處萬変主一敬」の出典は、朝鮮王朝・中宋の李彦迪（イ・オンジョク）の詩文の一句にあると指摘しました。このことについては、今春の「雄飛」第六十号に詳しく書かれていますので参照ください。

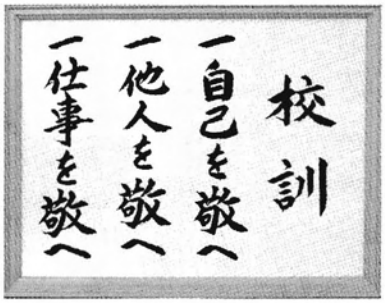
校訓の第一の「自己を敬へ」ですが、これを字句通りに受け止めれば、「自分を敬いなさい」となり、これをそのまま受け入れるのには、どこか抵抗があります。それは、ある面において、とても尊敬できない自分がいるからです。そこで、この「敬う」を「大切にする」と考えると、この校訓がスッと入ってきます。

「敬う」を「大切にする」から「ないがしろにしない」、さらに「切らない」と考えると、もっと身近に感じられます。「自分はダメだと、絶対に切らない」「あの人はダメだと、絶対に切らない」「勉強なんか意味がないと、絶対に切らない」というように考えるのです。

私は今年教職四十九年目を迎えています。この半世紀に及ぶ教員生活で得た確信の一つに、「物事はイメージの中でしか成就しない」ということがあります。「ダメだと思ったら、ダメ」なのです。つまり、人の成長を阻むのは、セルフイメージの低下です。

「自分はどうでもいい」となげやりに思っている人は、簡単に「あの人はダメだ」と他人を切り、「何でこんなことをしなければならないのか」と仕事を切ります。

どんな嫌なことがあっても「自己を敬へ」と声高らかに唱えて心の一新をはかり、どんな嫌な人にでも、「自分の成長のために神が与えた人」と考えるのです。これは、水泳の北島康介選手が、その指導が厳しく、時には鬼コーチとも思えた平井コーチに対して抱いた感情だと、本人が告白しています。本校の校訓は、素晴らしい人生訓でもあるのです。



千代野 仁 教諭 書

次に校歌について考えましょう。

校歌には、二つの対比が見られます。

A　①松　②桐　③芙蓉

B　①み諭し　②み教え　③習

まず、Aから考えます

①松

「二の沢辺に松風受けて」

当時の宇都宮実業学校は現在の文星女子高の場所（二の沢）にあり、美しい松林に囲まれていました。

②桐

学校の周りには桐林がありましたから「桐の花咲く学びの丘」なのですが、この桐にはもう一つ校章のデザインとなっている「五三の桐」への思いが込められているのではないでしょうか。「五三の桐」の紋章は、「五七の桐」に次ぐ、高貴な紋です。古代から「桐」は、聖徳の天子の御代に現れるとされた鳳凰が宿る神聖な木とされてきました。

五七の桐

五三の桐

桐の花

③芙蓉

芙蓉は、蓮の美称です。蓮は、花が咲くとき一気に開きます。この様子を「いざや芙蓉の力を込めて」と謳ったのです。

蓮の花

Bについては、「我を敬う」が「み諭し」、「人を敬う」が「み教え」、「事を敬う」が「習」です。「諭し」は、言い聞かせる（説諭する）ことであり、「教え」より強い言葉であり、「我を敬う」を最上位に位置づけているような気がします。また「習」は習慣のことで、ここでは仕事に向かう心構えを説いています。「産業場裡（産業界）を新に拓き」は、今風にいえば、ベンチャービジネスのすすめです。「実社会で力強くはばたけ！」と私たちにエールを送っています。

このように、校歌には本校の校訓が見事に織り込まれているのです。

最後に、私なりに本校の校歌を現代風にわかりやすく訳してみます。

一、二の沢辺を吹きわたる松風を受け、我を敬うみ諭しを胸に抱き、ありがたい敬の教えの実践に全力を尽くす。私たちの使命は重い。

二、桐の花が咲くこの美しい学び舎に、人を敬う教えを堅く守り、真理を探究する心は燃えさかる。私たちの抱く理想は高い。

三、蓮の花が咲く時の勢いを持って、仕事に立ち向かう心構えを備え、産業界に新しい風を起こそう。ここに、私たちは雄飛を誓う。

＊一番の歌詞の「かしこき」は「畏れ多い」の意、「みのり」は「御法」と思われ、「ありがたい敬の教え」と訳してみました。

高等学校

生徒会からこんにちは！

生徒会長
岡本 源二郎
（英進科３年４組）

こんにちは。生徒会長の岡本源二郎です。最近は肌寒い日が続き、カゼなどで体調を崩してはいませんか。三年生は就職試験、面接、センター試験などが続く大切な時期になってきました。インフルエンザの予防接種、手洗い、うがいなど、万全の状態で来たる冬に備えましょう。

その前に、学園の大イベントである「雄飛祭」がいよいよ間近に迫ってまいりました。各クラス、各部門の準備はどうでしょうか。イベントには積極的に参加してほしいと思います。「踊るアホウに見るアホウ、同じアホなら踊らにゃ損損」という言葉があるように、みんなで全力で頑張ってこそ、よりよい雄飛祭を迎えることができると思います。

さて、創立百周年に開催される雄飛祭のテーマは「道標（みちしるべ）」となりました。全校生徒から寄せられたテーマ候補の中には非常におもしろいものも多数あったのですが、それらを押しのけ、見事「道標」が選ばれました。

百年もの長い年月をかけて先輩方、また創立者である上野安紹先生が残して下さった「道標」のおかげで、私たちはこの節目の年を迎えることができました。そして、これからは私たちが後輩の模範となり、後の百年の「道標」となって行く。創立百周年を迎える文星にとってぴったりのテーマだと感じました。

このテーマを胸に、各クラス、また各係が準備に取り組んでいます。そのがんばりを当日発揮し、来てくださるお客さんだけでなく、私たちも楽しめるよう頑張りたいと思います。

＊雄飛祭の一般公開は、10月23日（日）9時から14時30分までです。

雄飛祭催し物紹介

今年、文星芸術大学附属高等学校は創立百周年。雄飛祭をいつも以上に盛大にすべく、各クラスでは準備が着々と進められています。

三クラスが競合したチョコバナナは激戦が予想されます。売り上げ一位を獲得するのは果たしてどのクラスか。

焼きうどん、タピオカジュース、さつまいもスティックなど個性的なメニューにも大注目です。カレーライス、牛丼、フランクフルト、アイスのせトースト、クレープなどもおいしそうです。PTAによる恒例のお餅販売も見逃せません。ぜひ、お腹をすかせていらしてください。

射的や金魚すくいは、いかにもお祭りらしいですね。童心に返って久しぶりに挑戦してみてはいかがでしょうか。

食品催事以外にも、ミニコンサートあり、展示あり、ピタゴラスイッチあり、劇あり、卓球あり、カジノあり…。盛りだくさんの催しで皆様のお越しをお待ちしております。ぜひ遊びにいらしてください。

沖縄修学旅行

二度と戦争は起こさない…

沖縄の守り神シーサー

第二学年二六〇名は、九月十三日(火)から十七日(土)の四泊五日で、沖縄県に修学旅行に行ってきました。

初日は、ひめゆりの塔、摩文仁の丘を見学しました。ひめゆりの塔では千羽鶴を、摩文仁の丘では献花を捧げ、追悼の意を表しました。資料館では、短い時間でしたが、戦争の悲惨さを学びました。

二日目は、午前中は、美ら海水族館を見学しました。熱帯の魚の美しさに目を奪われ、ジンベイザメの大きさに圧倒されました。

午後は国際通りで買い物をしました。公設市場では、魚介類、食肉類をはじめとした食料品の販売をしていました。沖縄の食文化の一端をかいま見ることができました。

三日目は、体験学習でスキューバーダイビング、シュノーケリング、シーサー作り、沖縄そば作り、パインジャム作り、イノー観察、魚釣りなどの中から各自選択し、体験学習を行いました。

四日目は、指定された候補地の中から事前に見学地を決め、班ごとにタクシーで研修をしました。バスでは行けない小規模な場所に行き、大人数の生徒が一斉に行動したのでは味わえない雰囲気を楽しむことができました。

また、タクシーの運転手の方から聞く話は、ガイドブックにはない貴重なものばかりで、中には昼食も地元の人たちしか知らないお店に連れて行ってもらった班もありました。

最終日は、首里城を見学し、琉球の歴史にふれました。首里城は、中国の紫禁城に似たところがあり、沖縄が日中の両文化の影響を受けていることを感じとりました。

修学旅行中は天候にも恵まれ、沖縄の風土や文化にふれることができた有意義な修学旅行でした。

もう一杯おかわり！

海は広いな大きいな

俺たち　海の男です

輝け!!文星健児 ～部活動報告～

県内各地で行われた新人大会やコンクールの主な結果と、現在開催中の国体、全国高等学校将棋竜王戦の結果を紹介します。
※（英）＝英進科（普）＝普通科

硬式野球部

4年連続関東大会出場

十月十日(月)、県営球場において秋季県高校野球選手権大会決勝戦が行われ、本校硬式野球部と作新学院が雌雄を決した。

準決勝戦で宇都宮工業に快勝し、見事4年連続となる関東大会出場を決めた文星ナイン。八回まで気迫の投手戦が展開されるも、九回表に痛恨の2失点を喫し、惜しくも県大会優勝を逃した。

十月二十九日(土)から山梨県で開催される第64回秋季関東地区高校野球選手権大会でも今回の経験を活かし、選抜甲子園大会出場を目指して一戦一戦を全力で戦い抜いて欲しい。

《準決勝戦》

宇工	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
本校	1	0	0	0	3	1	1	×		6

《決勝戦》

作新	0	0	0	0	0	0	0	2		2
本校	0	0	0	0	0	0	0	0		0

卓球部

澤畠選手国体出場　迫田選手全国大会へ

十月一日(土)に開幕した第66回国民体育大会『おいでませ！山口国体』。栃木県勢の一人として、本校の澤畠雅孝選手(普三年)が選ばれた。栃木県勢は予選リーグで佐賀県、福島県代表に勝利するも、石川県代表に敗退し、決勝トーナメント進出は果たせなかった。

また、九月二十二日(金)に行われた全日本ジュニア選手権大会県予選会において、本校の迫田樹選手(普一年)は3位入賞を果たし、一月に東京都で開催される本選への出場を決めた。

陸上競技部・駅伝部

安達選手円盤投げ制覇

十月一日(土)、二日(日)に行われた県新人陸上競技大会において、本校の安達卓也選手(普二年)が円盤投げで見事優勝。同種目3位入賞の田代美砂希選手(普二年)、1500m5位入賞の高橋翼選手(普一年)とともに、十月二十九日(日)から東京都で開催される関東大会出場を決めた。

安達　卓也
《円盤投げ》　優勝　33m98
《砲丸投げ》　3位　12m45
田代　美砂希
《円盤投げ》　3位　31m97
《砲丸投げ》　4位　12m06
高橋　翼
《1500m》　5位　4分10秒79

将棋部

小倉君全国ベスト13　菊地君関東大会へ

八月二十三日(火)、二十四日(水)に福岡県で開催された第24回全国高等学校将棋竜王戦に本校の小倉一富史君(英二年)が出場した。予選リーグを勝ち抜いた26名で争った決勝トーナメントで、小倉君は1勝し、堂々の全国ベスト13入りを果たした。

また、九月十七日(土)、十八日(日)に行われた第22回関東地区高文連将棋選手権大会県予選で菊地優志君(英一年)が3位入賞を果たし、十二月に千葉県で開催される関東大会の出場を決めた。

バスケットボール部

県バスケットボール協会長杯争奪高校一年生大会　優勝
《決勝戦》（対宇短附高戦）
本　校　100―54　宇短附

テニス部

県高校新人テニス大会
《シングルス》
準優勝　山口優紀(普一年)
ベスト8　柿沼拓実(普一年)
《ダブルス》
ベスト4　遠藤康太(普一年)
阿久津泰史(英二年)組
ベスト8　竹村健太(英二年)
阿久津亮汰(普二年)組
山口・柿沼　組

音楽部

第53回吹奏楽コンクール
《高校D部門》　銀賞
交響詩曲『西遊記』

就職試験出陣式

今年も九月十六日から就職採用試験が始まり、本校からも約100名が試験に臨む。一昨年より急激に就職が難しくなった状況を踏まえ、今年の生徒は事前準備も早くからスタートし、万全な態勢で各々の選考会場へ向かった。

まだ思ったようなよい試験の結果がでていない者もいるが、昨年の先輩達が厳しい就職戦線を最後まで戦い抜いたように、今年の生徒諸君も全員が内定を勝ち取ることができることを信じている。

検定取得状況（九月現在）

第128回日商簿記検定
【二級】暮林　翔真
第103回全経電卓検定
【二段】小川　智也
【一級】市村　拓也
内田　海老原佑基
吉池　研雄　福島　一也
【二級】ピモンスィーパタウィー
三浦　一也　大方　海
【三級】岡嶋　一輝　紙本　有康
小池　佑斗　近藤　将太
栃木　哉輝　吉成　敦
蓬田　巧巳　青木　俊介
第46回全商英語検定
【二級】鶴野　翔斗　三田　兼吾
【三級】岡嶋　一輝　大方　海
岡嶋　一輝　渡邉　尚樹
第一回日本漢字能力検定
【二級】鈴木　祥平

【準二級】飯藤　一馬　荒井　駿吾　荒井　結城　大輝
【三級】飯島　康孝　岩渕　迅風
今野　俊太　齊藤　義人
鈴木　康平　髙野　幹
冨澤　貴幸　津田　清樹
清水　侑馬　竹内　圭汰
町井　慎吾　大平　直也
柴田　将矢　福田　学
今井　君彦　石川　維士
大原　慎也　髙屋敷雄太
第一回実用英語技能検定
【二級】篠崎　陽介　阿部浩太郎
長谷川拓也　鈴木　亮平
鈴木　健祐
【準二級】菊地　優志　坂本　佑希
【三級】佐藤　遼典　原田龍之助
田中　祥平　菊池　一生
岡嶋　一輝　綱川　倫宇
田崎　卓　田崎　穂積
小峰　英也　根本　諭

文星散歩道⑯「当たり前は幸せ」

（題字　大木教頭）

船木　勝（保健体育科）

地震・津波・放射能・台風・大雨、とんでもないことが次から次へと起こる今。改めて感じたことがある、それは「当たり前は幸せ」ということだ。

今回の大地震の直後、福島県（いわき市）で教員をしている友人から「栃木の親戚を頼りに親戚一同避難をしてきた」と連絡があった。「今、親戚のツテで鹿沼のアパートに住まわせてもらえているが布団が無く困っている」とのことだった。なんとか布団を調達した後、鹿沼のアパートへ向かい友人と久しぶりの再会をした。

その後現地の現状を聞き愕然とした。電気・ガス・水道等のライフラインが断たれたことはもちろん、避難所となった学校は再開のめどが全くわからないということ。津波に巻き込まれ気を失い、ふと気づいたときには家の屋根の上にいたという女性の話。支援物資が届かず避難所では毛布の取り合いが起きているという話。等々、ニュースで見る出来事以上のことを耳にし、体が震えた。

自分達がいかに恵まれているのかは、普段気づかない。でも、私は、今まで「当たり前」と思っていたことがいかに幸せなことだったのか、また、どれだけ恵まれているのかを痛感した。

温かい食事を食べられること。お風呂に入れること。テレビを観られること。学校に通わせてもらえること・・・。

今、自分を取り巻く全ての「当たり前」を感謝の気持ちを持って、もう一度見つめなおしてみてはどうだろうか。

中学校

雄飛祭

『雄飛祭への意気込み』

生徒会長　高橋　英統

とうとうやってきた雄飛祭。今年のテーマは「道標」です。中学生は高校生の人数の多さに圧倒されてしまいがちでしたが、今回の雄飛祭は違います！

中学校は、今年度から男女共学となり、一年生の生徒数は二・三年生合計を越えました。一年生の催し物はきっと例年とはまた違った、素晴らしいものになることでしょう。二・三年生は、昨年の反省を生かして、これまで以上の最高の催し物をプレゼントできるはずです。全学年、全クラス、全生徒が熱いです！

また、オープニングセレモニーでは、『我らが生徒会と愉快な仲間たち』が凄いパフォーマンスを披露する（予定）です！

ミス文星コンテストにも出てしまう（かも）しれません！人数の少ない中学生ですが、気合は高校生に負けないぐらいあります！

中学生の予想外な活躍を期待していてください。応援よろしくお願いします。

クラス企画紹介

一年一組

一年一組なんと、三つもあるぞ！　以上！　えっ？

その三つを教えてほしい？よし、じゃあ教えるぞ！

クイズをしながら宝を探す「クイズ宝探し」、子供も大人もみんな楽しめる「昔の遊び」、意外とハマる！「ペットボトルボーリング」の三つだ！

どれも、ここには書ききれないほど、楽しいぞ！

行って損はなし！

そして、来た人にだけ参加賞ももらえるのだ。

さーさーよってらっしゃい、見てらっしゃい！

楽しい、楽しい一年一組！

一年二組

今回私達が企画したのは今まで見たことのないような「海賊」が舞台のスリル満点のゲームです。楽しくて「なるほど」「そうだったのか」と学べるクイズと、「文星を冒険する」という二つの目的を合わせた「謎解き冒険ウォークラリー」です。問題の内容も面白いのですが、地図や装飾もとても工夫されていて楽しいです。

パイレーツあり、歴史あり、ワン・ピースあり、何でもあり！？

豪華な賞品もあります！

皆さん是非来てください。

二年一組

二年生の今年の出し物はズバリ「曲を当てよう」でございます。名前の通り、様々なジャンルのイントロを流し、参加者の皆様に曲名を当ててもらうというものです。予選を午前中に行い、午後に決勝を行うという本格的なものです。皆様ぜひぜひ奮ってご参加ください。よろしくお願いします。

三年一組

我々中学三年は、大会議室にて映画を上映します。映画といっても、十分くらいの短い動画です。自分たちで撮影し、編集しました。

映画のテーマは雄飛祭のスローガンに因んで、「道標」です。〇〇の道標といった短編の作品を五つ上映します。

今年は三年生にとって同じクラスメイトで行う最後の雄飛祭です。悔いの残らないよう全力で取り組みます。是非とも足を運んでみて下さい。

スポーツフェスティバル

九月十日（土）、スポーツフェスティバルが開催されました。種目は例年通りソフトバレーボールを行いました。チーム分けは、生徒の縦割り四チームに加えて各クラスの保護者チームの計八チームでした。

生徒たちは、縦割りチームということで、上級生が下級生をフォローし、チーム一丸となってプレーしている姿が印象的でした。保護者も生徒には負けじと本気で闘っている姿が見られました。

試合結果

【優　勝】三年生保護者
【準優勝】二年生保護者
【三　位】一年一組保護者

優勝した３年生保護者チーム

中大連携授業

七月十三日（水）の第五・六校時に、文星芸術大学の伊澤郡藏先生（理学博士）をお招きし、放射能について講義をしていただきました。

講義の中では、実際に生徒一人ひとりに測定器を貸出し、普段生活している場所や身の回りにあるものを測定する活動もありました。講義、測定を通して、生徒たちは、放射能について考え、学ぶことができました。

一日体験学習

九月二十日（土）に、小学六年生と保護者を対象とした一日体験学習が開かれました。今回は、男子三十三名・女子二十六名の参加者がありました。年々参加者も増え、うれしいかぎりです。

今回は、国語・算数・理科・社会・英語の中から、二教科を選択してもらい、体験授業を行いました。

体験に参加した児童は、授業を元気いっぱいに一生懸命受けている姿が印象的でした。この体験学習が進路を決める決め手になることを願っています。

部活動大会結果

県新人戦・地区新人戦

県大会出場おめでとう

九月二十九日（金）から行われた（水泳は別日程）宇河地区新人戦において、水泳の神永慶一郎さん・中村峻輔さん（一年一組）が県大会に出場しました。また、剣道の渡邉千優さん（一年一組）が県大会出場を決めました。県大会での活躍を期待します。

男子ソフトテニス部は、団体戦で念願の公式戦一勝を果たすなど、それぞれの部活動において実り多い大会となりました。

水泳

五十m自由形　36秒01　神永慶一郎
二百m自由形　2分26秒　中村　峻輔
四百m自由形　5分11秒

剣道

渡邉　千優　五回戦

ソフトテニス

団体　対国本中　二回戦
個人　辻・森川　二回戦
飯藤・小山　二回戦

バスケットボール

対　清原中　一回戦

卓球

饗庭・齋藤・新井　二回戦

サマーキャンプ

中学一年生は、七月二十五日(月)から二十七日(水)の二泊三日で例年通り福島県のレジーナの森へサマーキャンプに行ってきました。

大自然の中で、クラスメイトと過ごした三日間は良き思い出となったことでしょう。

【生徒の感想】

「キャンプで学んだこと」

一年一組　大関　利奈

私がサマーキャンプで学んだことは、三つあります。

一つ目は、仲間の大切さです。キャンプは、野外調理がとても多く、一人では、お皿を洗うのも、野菜を切るのも時間がかかります。そういう時、仲間がいるありがたさを実感しました。

二つ目は、「長」の重みです。私は、部屋長になりました。正直言って、「私に出来るのかな、大丈夫かな。」と、不安でした。でも、みんなが「大丈夫だよ。」と言ってくれて安心しました。班長会議なども遅刻しないで行くことができて良かったです。

三つ目は、先輩のありがたさです。四月の宿泊体験学習は、先輩たちがいたので、とても楽でした。でも、今回は、初めての一年生だけの活動なので、全部自分たちでやらなければなりません。ご飯を作るときも、みんなで力を合わせてがんばりました。山登りもとても大変でした。でも、がんばって登りました。

私は、サマーキャンプでとてもいろいろなことを学びました。これからも、みんなと協力してすべてのことに自分から挑戦してみたいです。

今回学んだ事を、これからの学校生活に生かしていきたいです。

「キャンプで学んだこと」

一年二組　石川　智也

僕はサマーキャンプでいろいろな体験をして、たくさんのことを学びました。

その中の一つは、作業をうまく行うには、他の人と行動を合わせることが大切だということです。野外炊飯では、T君とダッチオーブンで肉を焼く係になりました。他の人が作っているスープやご飯などが出来あがる時間と、肉の焼きあがりをあわせなければいけないので、僕は一生懸命に下ごしらえを頑張りました。

また、ここではもう一つ大切なことを学びました。それは、普段は気付かない「親のありがたさ」です。サマーキャンプは、自分達だけでご飯を作らなければなりません。だから途中で疲れたりしても休むことはできませんでした。今まで、当たり前のように母の作ったご飯を食べていましたが、毎日こんなに苦労して僕のために作ってくれていたんだなとしみじみ感じました。そして、これからは、母の苦労を少しでも減らすために手伝いをしていきたいと思いました。

1年2組　夏の思い出ができました

英語研修

中学二・三年生は、八月四日(木)から七日(土)の二泊三日で、福島県にあるブリティッシュヒルズへ英語研修に行ってきました。毎年ここで英語研修を行っていますが、英語漬けの三日間を過ごした経験は生徒たちの英語への興味・関心を深めたことでしょう。

生徒の感想を一部ご紹介します。

「英語研修へ行って」

二年一組　鈴木　理仁

英語研修を終えての感想を書きたいと思います。

私は、中学から英語を学んでいるので、現地へ行っても大体のことは、講師の方と通じると思っていました。しかし実際には、思った以上に会話はできず、身振り、手振りなどのジェスチャーの方が通じてしまい、自分の英語力の無さを実感させられました。また、自由時間の際に、テニスラケットを借りに行った時に、自分の思いをうまく英語で伝えられない上に、とても緊張してしまい、頭が真っ白になってしまいましたが、何とか無事に借りることができ、安心しました。

二日目の夜には、テーブルマナーを学びました。研修に行く前からテーブルマナーの話は聞いていたので、とても楽しみにしていました。マナーについては、すべて英語だったので、「本当にこれでいいのかな」と心配になることもありましたが、問題なくできたので良かったです。

私は、この英語研修での貴重な体験を生かし、大人になった時に国際社会で活躍できる人間になりたいと思います。

「ブリティッシュヒルズ」

三年一組　甲賀　優希

三日間、イギリスなどの英語圏の方達と一緒に過ごしました。

まず感じたことは、話し方が普段の英語の授業のものとは全然ちがうということです。独特の方言のようなものもあるのかなと思い、それもまた勉強になりました。次に、楽しかったことは、イギリスのスポーツを体験する授業です。クリケットやホッケーをやりました。クリケットは野球と似ていて、より得点が入りやすくて面白かったです。食事には英語の教科書に載っているフィッシュアンドチップスがでました。教科書で見たものよりかなりボリュームがありましたが、美味しく頂きました。

今回の体験を通してイギリスの文化を感じ、学ぶことができました。しかし、まだまだ知らないことがあるので、これからも英語を通してもっと勉強していきたいです。

▲スコーン作りの様子

◀シェークスピアとパチリ

修学旅行

中学三年生は、九月十三日(火)から十六日(金)まで、三泊四日の日程で京都・奈良へ修学旅行に行ってきました。天候にも恵まれ、全日程を予定通り元気に活動してきました。

【主な行き先】

奈良　明日香地区
　東大寺
　奈良公園
　法隆寺
　薬師寺
京都　宇治平等院
　妙心寺
　北野天満宮
　東寺
京都市内(班別研修)

【生徒の感想】

三年一組　根本　諭

修学旅行は、今までの合宿よりもずっと長い時間、皆と一緒に行動していたので、絆がより深まった気がします。自由行動で道を間違えたとき、誰も責めたりせず「どんまい！」と声をかけてくれました。とても嬉しかったです。

修学旅行へ行く前は、「座禅体験なんて簡単だろう」と思っていましたが、いざやってみると、とても辛くて十五分間が耐えきれませんでした。しかし、心の中でモヤモヤしていた気持ちがスーッと軽くなりました。

座禅は自分を「無」にしてくれるということを学ぶことができたので、今後も何かあった時にやってみたいと思います。

三年一組　鈴木　悠佑

一日目、レンタサイクルで巡った明日香地区は、宇都宮と違い、色々なところに古墳などの遺跡がありました。とても暑くて、途中日の当らない場所で何度も休みましたが、石舞台古墳など、色々自由に見学できたので良かったです。

また、東大寺や平等院鳳凰堂などは、とても大きく教科書より迫力がありました。金剛力士像が手造りだと思うと、昔の人の技術はとても素晴らしいものだと思います。また、仁王像や五重塔が東大寺や東寺だけでなく、たくさんのお寺にあり驚きました。

東大寺にて

北野天満宮参拝

三年一組　泉　浩太郎

京都では、興福寺などのお寺で色々な仏像を見ました。とても神秘的でした。奈良で見た大仏も予想以上に大きくて圧倒されました。元々は金色に光っていた事にビックリしました。

自由行動では十時間も京都の街を歩き回ることができたので、金閣寺や銀閣寺などの有名処をはじめ、多くの場所に行くことができました。特に清水寺はとても高い所にあり、清水の舞台に上がった時はとても風が気持ちよくて景色も良かったです。

三年一組　徳本　祐太

一番楽しかったのは、班別自由行動です。特に清水寺は一番修学旅行らしさを感じた場所でした。「清水の舞台から飛び降りる」ということわざがありますが、思ったよりも高くありませんでした。また、清水寺では「胎内めぐり」をすることもできました。「暗い所へ入って行って、石に触って願い事をしてから帰ってくる」という説明だけを聞くとなんだか簡単そうですが、実際にやってみると、とてつもなく難しかったです。「手すりを離すな」と言われていましたが、うっかり離してしまった時はパニックになりました。しかし同じ班の人に助けてもうことが出来ました。

とても充実した楽しい修学旅行でした。

せんとくんと…

福祉施設体験

今年度も中学三年生を対象に、福祉体験実習が行われました。ケアプラザ而今にて、夏季特別活動期間中の七月二十五日・二十六日・二十七日のいずれか一日のみの体験でしたが、各々が学校では出来ない体験をさせていただきました。

【生徒の感想】

三年一組　島田　慧

はじめは施設の方ときちんと話せるかどうか心配でしたが、時間が経つにつれ少しずつ話せるようになりました。中には戦争を体験された方もいて戦争の怖さを教えてくれました。歌が得意だという方もいて、私たちに歌って聞かせてくれました。とても上手でした。

また、私たちが特技を披露する時間では、なわとびの三重跳びや衣装に着替えてガチレンジャーをやりました。施設のみなさんも笑って楽しんでくれたので、とても安心しました。

今回の体験ではとても貴重な時間を過ごすことができました。また、機会があったら行きたいです。

社会体験学習

中学二年生は、夏季特別活動期間中の八月二十三日(火)から、二十六日(金)までの四日間、社会体験学習に行ってきました。

慣れない環境で、緊張する中、普段では学ぶことのできない貴重な体験ができました。

快く体験に協力していただいた事業所の方々、誠にありがとうございました。

協力事業所

栃木県警察学校
栃木県立博物館
北関東綜合警備保障
ベルフィットネス
宇都宮記念病院
スズテック
大塚商会
ミツトヨ

（順不同・敬称略）

スズテックでの作業体験

創立100周年記念
第９回 雄飛祭 テーマ『道標（みちしるべ）』
10/22（土）・10/23（日）

10月23日（日）のみ、一般公開 9:00～14:30（最終入場14:00）
※駐車場は用意しておりませんので公共の交通機関でご来場下さい。

制作者コメント

今回のポスターは、写真をベースに、上から鉛筆や油・油絵の具・アクリルガッシュなどで描きこみ、見上げた空をイメージしました。近くで見る印象と、遠くから見る印象が違う事の面白さに気づいてもらえたら、うれしいです。

ポスターデザイン／美術デザインコース ３年10組　辻　正朗